

公認スクールにおけるクラス認定テストの実施チェックリスト

*認定テスト開催前に全ての項目がチェックされていることを、確認してください。

- 審査員は、正会員もしくはオープン会員です。
- 審査員は、公認指導員です。
- 審査員は、A級又はB級ジャッジで、クラス認定テスト審査員の講習説明会を修了しています。
- A級ジャッジの審査員は4級もしくは5級を、B級ジャッジの審査員は5級の審査を行います。
- 公認スクール保険を適用させるために、開催1週間前までに「NSA公認スクール申込書」を提出し、保険の準備をしています。(P1)
- 事前講習を実施する前に「公認サーフィンスクール受講者報告書」を連盟事務局へFAXしています。(P2)

- 受験者は、正会員もしくははオープン会員です？。(Web等による当日入会も可能です。)
- 審査員が指定する事前講習を同日に2時間以上受講しています。ただし、波や気象の急変等により審査員が認定テストを延期した場合には、同審査員が指定する日（原則1ヶ月以内）に実施する認定テストに事前講習の効力があるものとみなします。
(審査員が指定する事前講習とは、審査を受ける公認スクールもしくは、審査員が指定する公認スクールにおいて、審査の同日に受講したものです。なお、審査を受ける公認スクール以外で事前講習を受講した場合は、受講者より修了証を受領して下さい。)
(P3)
- 同日に2回以上の受験する場合は、その都度に事前講習が必要です。

- 写真付きの受験者カードを記載してもらい、審査員が受領しています。(P5)
- 受験者カードに、受験級、ヒート番号、ゼッケンカラーを記載しています。
- 受験料2,000円を受領しています。
- 2色のゼッケンを用意してあります。
- 「クラス認定テストジャッジペーパー」を人数分以上用意してあります。(P7)
- 審査基準を受験者に説明しています。

- 4級もしくは5級の認定テストに適した波、気象状況等です。
- 審査員1名以上います。
- 審査対象人数は、1ヒート2名以内です。
- 審査時間は、15分です。
- マキシマム・ウェーブは、6本です。6本以内に判定が出た場合は、この限りではありません。
- 救護体制を確立しています。

- 審査後に合否の結果を受験者に説明しています。
- 受験者カードの合否いずれかに審査員の印を押し、キリトリセンの上部を受領しています。
- 合格者には、受験者カードのキリトリセン以下を記載・押印し、渡しています。
- 合格者から、認定料3,500円を受領しています。
- クラス認定テストジャッジペーパーを1年間保管します。

- 3,500円×合格者数の認定料を連盟本部に振り込んでいます。
- 「日本サーフィン連盟公認クラス認定テスト開催報告書」に結果を記載し、受験者カード(写真付き)を同封し、連盟本部に送付しました。(P8)
- ◆当日に受講生の会員申込を受付した場合には、連盟本部へ登録用紙を送付し、会費を払い込んでいます。

審査実施日 年 月 日